

今年も彼岸花がきれいに咲きました！



2012. 10. 2撮影

鯉沢中部小学校だより

せおと

平成24年10月22日 No.6 発行者 校長 岡崎紀子



富士川べりのすすきの穂が白く輝き、秋の風情を奏でています。また、学校の近くの山々の木々の彩りも日ごとに変化を見せて、目を楽しませてくれます。

本校の運動会には、心温まる御支援と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。上記のスローガンのもと、全校児童11名と職員が一丸となって取り組んだ運動会では、練習の成果を十分に発揮し、力いっぱい演技を皆様の前で披露することができました。運動会を通して、運動することの喜びや集団の一員としての自覚、集団の力のすばらしさを学んだことでしょう。

このことをこれからの学校生活に生かしていけるように、中部小教育の充実に向けて職員一同努力していきます。

地域の皆様、保護者の皆様には、準備や片付けに御協力いただき、スムーズに運営することができ感謝申し上げます。手際の良さに、ただただ驚くばかりです。

民踊部の皆様には、昨年度より中部音頭の指導をしていただき、中部区の踊りとして定着してきたことに感謝申し上げます。

また、中部地区教育推進協議会専門部の皆様には、焼きそば・フランクフルト・きゅうりの浅漬けの出店をしていただき、運動会を盛り上げていただきました。テントやベンチの搬入や買い出し、仕込み等相当な御苦労があったでしょうが、いつも笑顔でさわやかに対応してくださいました。

まさしく、「地域と家庭と学校」が一体となった運動会でした。



組立体操は、全校11名で音楽に合わせていろいろな技に挑戦しました。初めて参加する5・2年生は、夏休み中に腕立て伏せやブリッジ、倒立の練習が宿題でした。最終技は、2基のタワーを計画していましたが、11人全員で作る技に挑戦させたいという指導者の意図で4段タワーになりました。音楽に合わせて完成していく様はカッコよかったですね！

鼓笛行進も11人の心を一つにして頑張りました！正方形の一边を歩く数や体を上下させない歩き方等に気をつけながらの演奏ですので、大変でしたが、よく頑張りました！



YOSAKOIソーランは、地域を元気にする踊りですが、まさしく中部地区が活性化する勇壮な踊りでしたね！いつもとても楽しそうに踊っていました！

一輪車では、全員が得意技を披露しましたが、いかがでしたか？2年生も立ち乗りができるようになり、上級生と一緒に高度な技に挑戦しました！



宝ひろいには、15人参加

子どもは宝です



ジャンプカに注目してください！



六年生六名の堂々たるジュブレット記念バッジです



この後、ボクが勝ったのだ

9月20日に開催されました富士川町中部区活性化プロジェクト会議において、“中部区の活性化”のためにすぐに取り組める事項のひとつとして、中部小学校の運動会への参加が挙げられました。種目の中に老人クラブ種目や一般参加種目を特設して、区民参加の運動会にしていこうということが話し合われました。それを受けて、区長さんや正副組長さんが呼びかけてくださり、本校の運動会を盛り上げてくださいました。改めて感謝申し上げます。



鎌沢中部音頭の輪は昨年よりも大きな輪になり、踊りもそろっていました！
民踊部の皆さんの御指導のおかげです！



区長さん！ナイス 輪～お片！



童心にかえって、笑顔でいっぱいヨイショヨイショ



卒業生リレー、みんないい顔しています。笑顔に金メダルを！



教育長さん、ナイスボール！

完売御礼



毎年、焼きそばを楽しみにしています。



老人クラブ種目です。若い者には負けられません。



皆さん、リレーに参加しましょう

手の上げ方もバッチリ！



子どもから学ぶこと

子どもが大きくなってきて、子どもから学ぶことが増えてきた。先日、中1の長男が50点満点のテストで49点を取ってきた。ついつい、「もうちょっとがんばれたんじゃない？」などと言ってしまった。すると、高2の長女が「でも49点はすごいよ」とほめた。長男は満面の笑みをみせた。

先日のマラソン大会で、長男は170人中129位だった。半分ぐらいまでは入るかな、と思っていたので少しがっかりしたのだが、同じ大会で表彰経験もある長女は「女子は4キロだったけど、君は6.5キロでしょ？そんな長い距離を完走したのは、我が家では君が初めてだよ。すごい！頑張ったね」と、またしても長男から満面の笑みを引き出したのだ。

うー、いかん、我ながら心が狭い。長女に救われているせいとか、長男は優しい。誰かが「痛い」というと、「どうした、大丈夫？」と心配する早さはピカイチだ。高1の次女からも、友達が悪口をほとんど聞かない。基本的に嫌いな人がいないそうだ。素晴らしい。

みんないい子に育ってくれたものだ。反面教師か？

考え込む私に、褒め上手の長女が「人生をいつも楽しんでるお母さんは、ある意味、理想だよ」と一言。お、ありがとう。この際深く考えずに、素直に喜ぶことにしよう。

《雑感》

上記の意見は、2年前に朝日新聞の「ひととき」に掲載されていた横浜市原田弘子さんからの投稿です。

毎日の忙しさの中で余裕もなく、子どもの話を聞き流しながら夕食の準備をしていたり、いらだったりしている時に、我が子から学ぶことや教えられることがあり、ハッとすることはないでしょうか。寝顔を見ながら「ごめんね」と謝り、明日からはもっと褒めてあげようと反省し、次の日になるとまた同じことの繰り返しでした。みなさんはこんな経験はないでしょうか。

「子育て」という言葉がありますが、子育てしながら、大人自身も育てられているのですね。

第1面から運動会特集を組みましたが、運動会の練習と当日の運動会を通して、11人の子どもから学ぶことがたくさんありました。あの純粋な目、一生懸命さ、力を合わせる大切さ、相手を思いやるやさしい心遣い等、大人になると忘れてしまいがちなことをたくさん気づかせてくれました。ありがとう。